

2026年度6人制ルールの取り扱いについて（お知らせ）

標記の件につきまして、以下の通りお知らせします。ご不明な点につきましては、県内のA級審判員または辻までご連絡ください。

【1】プレーの動作に関する事項

9.3 ボールをプレーするときの反則

9.3.4 ダブルコンタクト：1人の選手が連続してボールを2回ヒットすること、またはボールが1人の選手の身体のさまざまな部分に連続して触れること。

(注)

- 1 チームの2回目のヒットが指を使ったオーバーハンドパスで行われ、自チームの空間内にボールが飛んだ場合は、手の中で連続して接触してもダブルコンタクトの反則にならない。アタックヒットが完了（ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触）したときは、ダブルコンタクトの反則になる。
- 2 オーバーハンドパスをしたボールがそのプレーヤーの手から滑り、身体の他の部位にあたった場合は、ダブルコンタクトの反則となる。
- 3 チームの2回目のヒット後、アタックヒットが完了（ボールがネットの垂直面を完全に通過するか、相手ブロックに接触）したときにダブルコンタクトの反則が成立するため、それまでに別の反則が起きた場合、その反則が優先される。

【2】プレーの構造に関する事項

7.4 ポジション

サービスヒットの瞬間、サーバーを除き、両チームはそれぞれのコート内に位置していなければならない。レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーション順に位置していなければならない。サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。

(注)

- 1 レシービングチームのポジションの反則が成立するのは、サーバーがトスをした瞬間である。トスをする瞬間までにコート内に位置していなかったり、ポジションが完全に入れ替わったりしたケースは反則となる。
- 2 レシービングチームにポジションの反則が起きたときは、サービスヒットの瞬間にホイッスルする。

※ファーストレフェリーのシグナルについて

・チームの3回目のヒットがネットを越えず、その選手が続けて触れた場合、「ダブルコンタクト」ではなく、「フォアヒット」のシグナルを示す。

【問い合わせ先】 中島 健（開新高校）

電話：090-2515-6678